

PHILIPS

Healthcare

CPAP療法における 外来診療時のポイント

CPAPは非侵襲的で治療効果が高い治療法であり、現在SAS治療の第一選択として選ばれておりますが、CPAP療法は慣れるまでに数カ月かかる場合もあります。より効果的なCPAP療法のためにも**診察時のフォロー**が大切です。



CPAPは眼鏡と同じで対症療法です。治療をやめてしまうと再び無呼吸が発生することもあるため、より効果的に治療を行うために患者さんからのヒアリングと、CPAP装置のデータを確認することをお勧めします。

患者さんからのヒアリング



CPAP装置のデータ管理



患者さんからのヒアリングポイント！

CPAP療法は治療効果の高い治療法ではありますが、マスク装着で不快感や寝苦しさを覚える方がいます。外来診療時にヒアリングすることでアドヒアランスの向上が期待できます。



自覚症状の改善状況

- ・睡眠の質や時間の変化
- ・夜間の起きる頻度やトイレの回数などの変化
- ・日中の眠気の変化
- ・倦怠感や集中力などの変化



CPAP装置・マスクの使用感

- ・CPAP装置の圧力に対する不快感
- ・起床時の目の充血や鼻・口の乾燥の有無
- ・マスクや回路内の結露
- ・マスク跡や皮膚かぶれ、サイズ・フィッティングの違和感



必要性

- ・合併症の治療経過の変化
- ・血圧や体重の変化
- ・CPAP療法の必要性を理解しているか？

*1

多くの場合、圧力設定変更やマスク変更などの対策方法があります。

CPAP装置のデータからわかるポイント！

CPAP療法はご自宅で行う治療のため、使用している様子を確認することは困難です。外来診療時にデータを確認することで患者さんの感じる問題点を具体化することができます。以下3点は最低限確認することをお勧めします。

AHI

※Apnea Hypopnea Index:
無呼吸低呼吸指数

AHIは5未満が正常値ですが、最初は短時間でも良いので、できるだけ連日使用し、マスクと機器からの送気圧に慣れることが必要であるといわれています。*2

使用時間

4時間以上の使用で血圧、主観的な眠気の変化がみられたという研究結果があります。*3,4

リーク

推奨値はありませんが、ラージリーク*が1時間以上発生している場合は、マスクの対応が必要だという研究結果があります。*5

※ラージリーク(量) = マスクの呼気ポートからのリーク量×2倍

患者さんが治療をより快適に続けていくためには外来診療時のフォローが大切です。ご不明な点は、弊社までお気軽にご相談ください。

References

*1 井上雄一, 山城義広 (2011), 睡眠呼吸障害Update2011 株式会社ライフ・サイエンス / *2 本間栄 (2009), 睡眠時無呼吸症候群 一改定第2版 - 克誠堂出版株式会社 / *3 Haentjens P et al, Arch Intern Med 2007;167(8):757-64. / *4 Weaver TE et al, Sleep 2007;30(6):711-9. / *5 Schwab RJ et al, Am J Respir Crit Care Med 2013;188(5):613-20

製造販売者 **株式会社フィリップス・ジャパン**
〒108-8507 東京都港区港南2-13-37 フィリップスビル
www.philips.co.jp/healthcare
睡眠・呼吸製品のお問い合わせは地域の事業所まで
※各事業所の連絡先は以下のURLで公開しています
www.philips.co.jp/SRC-Office



© 2018 Philips Japan, Ltd.
改良などの理由により予告なしに意匠、仕様の一部を変更することがあります。あらかじめご了承ください。詳しくは担当営業、もしくはお近くの事業所までお問い合わせください。記載されている製品名などの固有名称は、Koninklijke Philips N.V.またはその他の会社の商標または登録商標です。
PN 1138903/190520 R3